

## タウンミーティング記録 未来へ向けて 今、ここから

日 時 令和6年7月7日(日) 午前10時～11時30分  
場 所 南台二丁目集会所（南台二丁目自治会）  
参加者 32人



### 主な意見等

参加者 今後、さまざまな災害が発生すると予測されていますが、市内の危険なブロック塀の把握状況はどうなっていますか。

市 長 古いブロック塀は市内各所にありますが、市として全ては把握しきれれていません。また、個人の財産であるため、市からは要望しにくいのが実態ですが、生垣の推奨やブロック塀を低くしていただくことは行っています。防災避難訓練における避難経路の確認の中で、ブロック塀のみならず危険な箇所をできれば地域や個々で確認していただきたいと思います。市としても、危険と思われる箇所は市内パトロールで注意喚起を促しているところです。

参加者 避難場所として亀久保小学校がありますが、南台二丁目の住民数からすると収容人数としては足りません。どのような根拠に基づいて決めていますか。

市 長 本市において推定される避難者数は、埼玉県が実施した平成24・25年度埼玉県地震被害想定調査により算出されております。ただ、大規模災害の際に全員が避難所に入るという想定はしておらず、倒壊等の恐れがある方のみ避難所に移っていただくということを考えて

います。また、食料も含めた避難物資は、各避難所に加えて防災備蓄倉庫に多くの物資を備蓄しています。これらの物資は避難所の方だけでなく、自宅避難の方も受取可能です。水道が使えない場合の対策としても、各学校には生活用水用の井戸を設置し、市内の数か所には飲料水用の井戸を設置し、ペットボトルの飲料水も多くの数を備蓄しています。市民の皆さんには、可能な範囲でご自宅での備蓄をお願いしています。なお、県としては、備蓄は必要最低限にし、災害時は外部からの受援体制を速やかに行えるようにするという方針となっています。

参加者 道路の側溝にひび割れやへこみなど老朽化が激しい箇所があり、つまってしまい雨水があふれている箇所がありますが、工事の計画はありますか。

市長 計画はありませんが、危ない箇所と確認された箇所に関しては順次修繕していく予定です。

参加者 よく通る道路にカーブミラーが設置されておらず、自転車とぶつかりそうになって危ないので、カーブミラーの設置をしてもらえないでしょうか。

市長 カーブミラーを付けづらい場所もあるので、職員が場所を確認したのち設置を検討します。

参加者 カーブミラーの件に関連して、前回のタウンミーティングの時にも設置を要求しましたが、近隣の住民の賛同が得られず設置できなかったということがありました。危険な箇所については積極的に設置の検討をお願いします。

市長 設置を断られた経緯がありますが、市として設置協力へのお願いは続けてまいります。

参加者 帯状疱疹のワクチンの単価が高いので、助成を検討していただきたいと思います。

市 長 残念ながら今のところ助成はない状況ですが、医師会からも助成の要請がきており、国としては定期接種の対象とはなっていませんが、確かに接種費用は高額なため、県に支出の一部負担するよう交渉しております。今後も接種費用を抑えられるよう検討します。

参加者 水道水のフッ素化合物（PFAS）について、テレビ番組で検査結果の報告がないと放送を見ました。フッ素化合物の検査はどのような指針のもと対応していますか。

市 長 国から指示がある前から濃度検査を行っており、基準値よりかなり低い数値となっています。市の水道水は地下水と県から供給されている荒川の水を混合し、浄水場で浄化し供給していますが、地下水の比率は以前より少ない状況です。地下水の方でまれに硝酸態窒素の混入が少し見られるため、浄水場に除去装置を付けて対応しています。

参加者 カーブミラーの角度が悪いものがあり、見通しが悪くなっています。市役所の担当部署に問い合わせたところ、住民との兼ね合いがあり、すぐ直せないと言われました。事故が起こってからでは遅いので対策をお願いします。また、カーブミラーに記載されている破損した際の連絡先が大井総合支所の電話番号となっているものがありますが、どういう経緯で放置されているのでしょうか。

市 長 書かれている番号はおそらく合併前の旧大井町役場の番号だと考えられます。市内にはカーブミラーは何千本とあり、付け替えが間に合っていないためだと思われます。カーブミラーの点検の際に、番号の確認も併せて行ってまいります。

参加者 小中学校のプールについて、昨年からは民間のプールを利用して授業が行われており、民間のプール利用の理由が老朽化ということでした。今後、老朽化したプールはどうしていく予定なのでしょうか。

市 長 民間のプール利用は老朽化が一番の理由です。加えて、以前に比べるとプールの利用時間は減っており、夏休み中の利用もほぼありませ

ん。修繕などプールの維持だけでも莫大な費用がかかるため、今年度から全校で民間のプールを使用し、維持費の削減に努めています。また、プールの解体については、民間側の経営破綻など万が一のリスクも想定し、かつ有効活用の検討も併せて、時間をかけて順次行っていく予定です。

参加者 付近の踏切で毎年同じような死亡事故が多いですが、市としての対策はありますか。

市長 確かに踏切での人身事故は多いと聞いています。東武鉄道とは沿線の市長とともに対策協議会を開いており、要望を提出しています。その中で踏切事故の対策も、要望を出しており、現在では踏切に入った人や障害物を検知して、列車に通報するシステムの設置の検討を進めているところです。この地域の踏切についても、なるべく早く設置の対応をしてまいります。また、ふじみ野駅と上福岡駅のホームドアの設置が決定し、今年度から工事が始まります。

参加者 肺炎球菌ワクチンは、75歳を過ぎると補助がなくなってしまう。医者からワクチン接種を勧められますが、2回目から有料で高額になってしまうため、2回目の補助もお願いできればと思います。

学校でのタブレット使用について、授業中に破損して修理に出すとなかなか戻ってこないの、授業に支障をきたしていると聞きましたが、その対策はどうなっているのでしょうか。

市長 肺炎球菌は今後検討してまいります。

タブレットの問題については、各学校でタブレットの予備機を置いており、机の上には落下防止のストッパーを取り付けています。また、修理業者も全国の学校のタブレットを取り扱っており、対応が遅くなっていることは考えられます。学校の予備機が足りないということも考えられるため、学校のみならず教育委員会とも相談して改善をはかっていきたいと思っております。